No.143

ごか議会だより

小野寺（おのでら）　優彦（まさひこ）さん

大木（おおき）　仁絢（とあ）さん

島田（しまだ）　アリスさん

- 平成29年3月定例会
- 常任委員会・予算特別委員会
- ここが聞きたい一般質問
- 新しい議会構成が決まる
- 議会トピックス・議会の動き・編集後記

今回の表紙を飾るのは川妻認定こども園おひさまの園児さん達です。

「議会だより」をスマートフォンなどでも見ることができます

平成29年度予算を可決

一般会計42億7,500万円　特別会計30億4,594万円

平成29年第１回定例会が、３月３日から16日までの14日間の会期で開催されました。

本定例会では、平成29年度各会計予算をはじめ、条例の制定・改正及び平成28年度一般会計・特別会計補正予算など29件の議案等が提出され、全て議案等が原案のとおり可決・採択となりました。

これに先立ち、総務文教委員会、経済建設委員会が開かれ、関連議案について審議されました。

また、３月８日、10日、13日の３日間にわたり予算特別委員会が開かれ、平成29年度の各会計予算について集中審議されました。

会計別予算規模

（単位：千円）

会計名			29年度予算額	28年度予算額	増減額	増減率（%）
一般会計			4,275,000	4,470,000	△195,000	△4.4
特別会計	国民健康保険特別会計		1,425,000	1,364,000	61,000	4.5
	後期高齢者医療特別会計		155,000	158,000	△3,000	△1.9
	介護保険事業特別会計		750,000	723,000	27,000	3.7
	公共下水道事業特別会計		534,895	431,531	103,364	24.0
	農業集落排水事業特別会計		181,052	187,050	△5,998	△3.2
	小計		3,045,947	2,863,581	182,366	6.4
合計			7,320,947	7,333,581	△12,634	△0.2
水道事業会計	収益	収入	472,423	461,111	11,312	2.5
		支出	472,195	461,003	11,192	2.4
	資本	収入	264,000	153,100	110,900	72.4
		支出	496,251	380,211	116,040	30.5

平成29年第１回定例会では、２ページのほか下記のことが決定しました。

議案第１号 ㊐	**五霞町情報・防災ステーションの設置及び管理に関する条例** 山王高規格堤防上に整備した防災拠点施設の名称、位置、管理等を規定する条例の制定
議案第２号 ㊐	**五霞町特定個人情報保護条例の一部を改正する条例** 法律改正に伴う条例の改正
議案第３号 ㊐	**五霞町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例** 法律改正に伴う条例の改正
議案第４号 ㊐	**五霞町一般職非常勤職員等の任用、勤務条件等に関する条例の一部を改正する条例** 現在の臨時職員、嘱託職員を一般職非常勤職員、特別職非常勤嘱託職員として任用を整理
議案第５号 ㊐	**五霞町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例** 人事院勧告に基づく条例の改正
議案第６号 ㊐	**五霞町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例** 人事院勧告に基づく条例の改正
議案第７号 ㊐	**五霞町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例** 特別職非常勤嘱託職員の報酬及び五霞町空家等対策協議会設置に伴う委員報酬の規定を整備
議案第８号	**五霞町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の特例に関する条例の一部を改正する条例** ・町長：前年度に引き続き月額給与の10%減額 ・教育長：前年度に引き続き月額給与の5%減額 （実施期間：平成29年4月1日から平成30年3月31日）
議案第９号 ㊐	**五霞町職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例** 法律改正に伴う条例の改正
議案第10号 ㊐	**五霞町税条例等の一部を改正する条例** 法律の改正・施行及び政令の施行に伴う条例の改正
議案第11号 ㊑	**町道の認定について** 圏央道の整備に伴う既存町道の機能補償として整備される予定の16路線を認定
議案第12号 ㊑	**町道の廃止について** 首都圏氾濫区域堤防強化対策事業の施工に伴い１路線の廃止
議案第13号 ㊐㊑	**平成28年度五霞町一般会計補正予算（第5号）** 歳入歳出それぞれ1億4,346万6千円を減額補正
議案第14号 ㊐	**平成28年度五霞町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）** 歳入歳出それぞれ1,690万8千円を追加補正

議案第15号 ㊐	**平成28年度五霞町後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）** 歳入歳出それぞれ947万9千円を追加補正	
議案第16号 ㊐	**平成28年度五霞町介護保険事業特別会計補正予算（第3号）** 歳入歳出それぞれ266万2千円を追加補正	
議案第17号 ㊐	**平成28年度五霞町公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）** 歳入歳出それぞれ2,231万4千円を減額補正	
議案第18号 ㊐	**平成28年度五霞町農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）** 歳入歳出それぞれ1万8千円を追加補正	
議案第19号 ㊐	**平成28年度五霞町水道事業会計補正予算（第3号）** （収益的収入及び支出）　収入支出それぞれ156万9千円の追加補正 （資本的収入及び支出）　収入2,088万円の減額補正　支出2,072万2千円の減額補正	
発議第１号	**五霞町議会予算特別委員会の設置**	
請願第１号 ㊐	**「まもなく40年を迎える東海第２原発の20年延長の申請をしないよう働きかけることを求める意見書」提出の請願書**	採択

㊐=総務文教委員会付託　㊐=経済建設委員会付託

※議案第20号から議案第26号については、新年度の各会計別予算となります。

意見書を提出しました

定例会で採択された請願について、地方自治法に基づき、意見書を茨城県知事ほか、関係市町村長に提出しました。（なお、文章は要約して掲載しています。）

○まもなく40年を迎える東海第二原発の20年延長の申請をしないよう働きかけることを求める意見書

福島第一原発事故の際に発せられた緊急事態宣言は、今なおそのままである。そして、事故がなぜ起こったのかという原因についても、いまだ確定的な結論は出ていない。

事故を最初に起こしたのは１号機であったが、この原発は運転期間が40年になる老朽原発であった。原発の運転期間は、「検査に合格した日から起算して40年」と定められ、「原子力規制委員会の認可を受けて、１回に限り20年以内の運転延長ができる」となっている。

しかし、運転延長による原発の劣化・老朽化の危険性は、福島第一原発事故にも表れているとおり、東海第二原発は、運転期間が38年を経過しており、巨大地震と津波により被災し、敷地にも地盤変動が見られる。また、半径30kmに約100万人が居住しており、もし深刻な原発事故が起きた場合には、極めて大きな被害につながる危険性があるが、日本原子力発電株式会社は、東海第二原発の運転延長の申請をしようとしている。

そこで、茨城県知事並びに原子力所在地域首長懇談会及び東海第二発電所安全対策首長会議の関係自治体の首長に対し、日本原子力発電株式会社が東海第二原発の運転延長の申請をしないよう働きかけることを強く求めるものである。

常任委員会 Q&A

Q　圏央道の整備に伴い今回16路線を町道として認定するが、集中豪雨等による雨水の田畑や住宅等への影響などが懸念される。また、雑草など今後の維持管理等が課題となってくるが、国の機能補償も含めた対応は。

A　国に対して、雨水排水対策や安全対策として、U字溝にふたをかけるとか、防草シートやコンクリートなどで雑草が生えないような処置を要望しているところです。

Q　情報・防災ステーションの建築工事期間中に、盗難事件が結構あったようで、管理が難しい場所と思うが防犯上の対策は。

A　工事期間中に４件ほど盗難があったことから、現在防犯カメラを設置しています。今後状況を踏まえて、更なる防犯対策を検討したいと考えています。

　また、駐車場は、消防団でも利用を考えており、消防団がいるということで一定の抑止力になると思われます。

Q　情報・防災ステーションは４月１日から使用できるのか。

A　４月上旬に竣工式を考えています。所管は生活安全課となりますが、施錠等の管理は道の駅ごかにお願いする予定です。トイレ以外の施設については、夜間は閉鎖し、朝と夕方に開閉します。

Q　今回の補正予算で、固定資産税が５千万円追加となっているが、徴収率が上がったということなのか。

A　固定資産税は、他の税目に比べて法人の納税義務者を多く含んでいます。当初予算では、歳入欠陥にならないよう、また事業に支障がない範囲で税額を計上します。

　本年度の実績の見込みにより増額をさせていただきました。

活用が期待される情報・防災ステーション

予算特別委員会 Q&A

Q　今、各自治体でふるさと納税について、物議を醸し出しています。町はどの程度算定しているのか。

A　今年２月から新たな業者と契約しまして、現在２社体制で行っています。寄附の額は、300万円を当初予算で組んでいます。なお、寄附の額は、平成27年度222万7千円、28年度が2月末で264万5千円となっています。

Q　今ネット社会の中で情報を得るには、スマートフォンなどが主流かと思いますが、町の庁舎、公共施設においてもWi－Fi機能の設置の考えは。

A　国では、東京オリンピックに向けて公共施設へのWi－Fiのスポットの設置を進める自治体へ補助制度を設け、設置促進を図っています。町でも平成27年度から３年間情報収集を行い、平成30年度に予算計上し、避難所等を中心とした設置を考えています。

Q　防犯灯・街路灯設置管理事業で、LED化の事業が始まったのが平成25年かと思うが、防犯灯が切れたら随時LEDにしていくということではなかったのか。

A　防犯灯のLED化については、器具等が使えなくなったものについてLED化という形で交換している状況です。

Q　高齢者活動支援事業でシルバーの雇用方法について、今現在、雇用は請負が多いと思われるが、労働者派遣法の改正もあり、派遣を推進するような動きがあるが、現状はどうか。

A　五霞町のシルバー人材センターにおいては、９割近くが請負の契約を結んでいます。国や県のシルバー人材センターにおいては、広い確実な雇用を図るために、高齢者においても派遣を推進するようにということが提言されており、町としても派遣を推進する体制整備を図っています。

Q　道の駅ごかへの修繕費について、指定管理者に委託している場合、指定管理者側が支払うべきものと認識しているがどうか。

A　平成17年以降、指定管理で委託していますが、取り決めの中で建物本体や敷地に係る部分、またそれらの付帯設備の修繕については町が行うとしており、日常使う上での維持管理や消耗品の交換、ごく簡単な維持管理などは、道の駅側で行うことになっています。

Q　産業廃棄物処分業務委託料ということで100万円計上されているが、どのような用途に使うのか。

A　中央公民館の東側に仮置きしているU字溝・アスファルトがらなどの建設廃材等の処分を業者に委託したいと考えています。

Q　九十九里町での五霞っ子体験交流教室などの活動で、校外学習引率者の補助金というのは、どのような方が対象になっているのか。

A　町で採用している教育活動指導員等が校外学習等に補助として、付き添う時の負担分として町が支出をしています。

Q　国民健康保険は、平成30年度から都道府県が財政責任主体となり、今後も保険税の負担が増えていくと予想されているが、その見込みは。

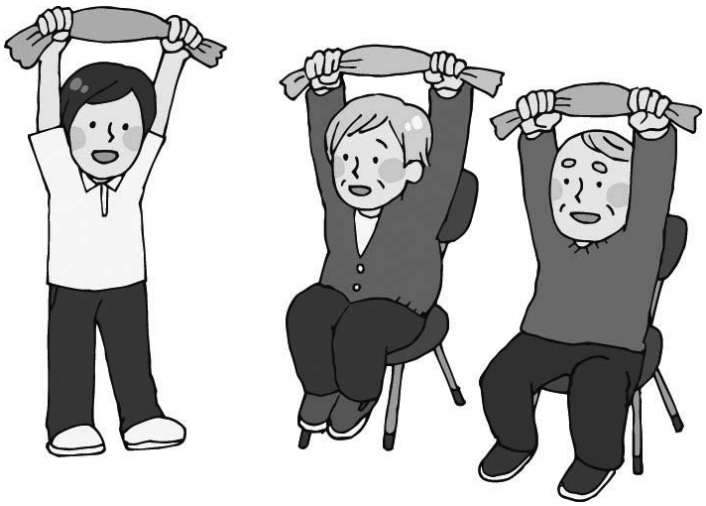
A　平成30年以降の国保財政運営の取り扱いについては、現在検討しているところです。国保税は市町村によって非常に開きがあることから、将来的には統一する方向性はありますが、スタート時点では、まず市町村ごとに保険税率を定めることになります。

Q　地域支援事業の中の65歳以上のすべての方を対象とした予防について、講座や体操教室というのは、実際にどのようなものを実施する予定か。

A　現在すでに実施しているシルバーリハビリ体操や、リハビリを兼ねたもので、理学療法士を招いて、介護予防教室を実施する予定です。

Q　水道事業の資本的支出で水源開発費683万6千円を計上しているが、この２年くらい、補正予算で200数十万円に減額しています。今年度も含めて700万円弱の予算を計上している理由は。

A　この予算は、思川開発事業にかかわる水源地域対策特別措置法に基づくダム周辺整備に係る事業の、平成29年度事業計画による五霞町負担額で、その年度に執行できなかった予算については、年度末等に減額をしています。



ここが聞きたい　一般質問

紙面の都合で発言を要約して掲載しています。

伊藤　正子 議員

問 町の人口増対策と事業について

答 若い人に住んでもらえる生活環境整備へ

問　町の人口減に適応した地域づくりが求められ、地域の活力を保つには行政・学校などの町の機能集約が求められている。小さな町だからできる人口増対策と事業は。

町民税務課長　少子化対策事業として、医療福祉費助成は前年度7,797件、不妊治療に対する助成は本年度２月末で７件。「第３子」以降を対象とした「就学祝金」は今年度12人に交付した。五霞町結婚支援事業を通した婚姻が１件報告されている。結婚相談・お見合いの設定など支援を求める方にきめ細かい対応をしている。

生活安全課長　町内の空き家戸数84戸。平成29年においては県から専門家（弁護士・司法書士・宅建士・建築士など）を町に派遣していただき、空き家の利活用・除却・相続・売却など所有者からのあらゆる相談に対応する空き家相談会を開催していきたいと考えている。

町長　住民の希望でもある商業施設の誘致、町の活性化、若い世代に住んでもらえるような生活環境の整備について、スピード感を持って推進していきたいと考えている。

問 国民健康保険制度の現状について

答 健康で長生きできるような対策を推進

問　医療費は医療の高度化と加入者の高齢化などにより増え続けている。保険制度維持のため①「国保」の加入世帯②１人あたり年間保険税③「特定健診」受診者数④ジェネリック医薬品利用状況は。

町民税務課長　①1,475世帯。65歳から74歳まで1,059人、加入者全体の39.4％で「国保」の高齢者の加入割合というのは極めて高い。②本年度見込は10万180円。加入者の所得に対して負担感は重い。③受診者706名、受診率35.4％。県平均より上位。④本年度10月診療の利用割合70％。保険者の負担だけでなく被保険者（患者さん）自身の自己負担も軽減するということで普及啓発を続けている。

町長　住民の皆さんが健康で長生きできるような対策が必要だと考えている。結果的に医療費・介護給付費抑制に結びついていくものと思うので、今後もしっかりと取組んでいきたい。

樋下　周一郎 議員

問 人口減対策には町の魅力度アップが足りないのでは

答 町内の企業と連携を強化して進めていきたい

町の人口を増やしていくためには、中長期的な財政計画と施策が必要であり、若い世代に町に住んでもらうためには、１に住宅支援、２に子育て支援、３に教育だと思います。

問　町の人口減少をどう捉えているか。危機感はあるか。

政策財務課長　町人口ビジョンでは、平成32年8,576人との推計である。このままでは危機的な状況であると考え、中長期的な施策と財政計画が必要だと考えている。

町長　町内には企業がたくさんあるので、企業との連携を強化して人口減対策を考えたい。

問　町をアピールするものは何か。

政策財務課長　緑豊かな自然環境、工業団地、インフラの整備、ICT教育、保育環境、交通環境など。

問　住宅支援は考えているか。新たな住宅開発はどうなっているか。

政策財務課長　原宿台、土与部の一部以外は建築に関する制限があり、空家等の利活用をできる限り早い段階で考えている。新市街地の住宅開発は難しい状況となっている。

問　子育て支援事業の中で保育事業を拡充する考えはないか。その中で病児保育事業を進めたらどうか。

健康福祉課長　新事業、保育士の労働環境改善、第３子の保育料無償化、第2子の保育料半減世帯の拡充などに取り組んでいる。病児保育は久喜市や坂東市で取り組んでいる。国の基準があり、保健センターでの取り組みは難しい。

町長　保育料については、近隣市町よりも安くなっている。

問　小学校の統合を検討すべきではないか。小中一貫校も検討すべきでは。

教育長　統合が前提ではないが、子どもたちにとってどの様な学校のあり方が良いか、検討の時期に来ているとは認識している。

教育次長　平成34年の児童数の推計は、東小190人、西小127人である。小中一貫校については、メリット、デメリット等はこれからの検証課題である。

問　IC周辺開発の商業施設の誘致は進んでいるか。また、道の駅東側の土地取得は。

副町長　現時点で報告できる状況にないが、関係機関と連携して努力している。

道の駅東側の土地については、エリア全体の問題として検討していく。

小学校児童数見込み

	H29	H34	減少率(%)
東小	227	190	16.3
西小	156	127	18.6
合計	383	317	17.2

※数字は、平成29年3月1日現在の見込み

原宿台地区

新しい議会構成が決まる

５月15日開会の第１回臨時会において、宇野進一議長と大久保帝二副議長の辞職に伴う正副議長の選挙が行われ、新議長に樋下周一郎氏、新副議長に板橋英治氏が選出されました。

また、各常任委員会、議会運営員会等の選任及び正副委員長の互選が行われました。なお、議会人事構成は下記のとおりです。

新任挨拶

樋下　周一郎　議長

板橋　英治　副議長

町民の皆様方には、日頃から町政の発展に種々のご協力とご支援、並びに町議会に対しまして深いご理解を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、私どもは去る５月15日の第１回臨時会において議員各位のご推挙を賜り、議長、副議長の重職に就任することになり、身に余る光栄と存じております。

同時に、議会は町政における重要な事項を決定する機関であることから、その責任は、極めて重大であると痛感しております。

ご推挙をお受けしたからには、微力ではありますが、誠心誠意最善の努力をいたし、町民総意を十分尊重した町政の推進と円滑な議会運営に最大の努力を傾注し、皆様方のご期待に報いたいと固い決意でございます。

どうか今後とも、町民の皆様方のより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様方のご多幸を心からお祈り申し上げまして、就任の挨拶といたします。

五霞町議会役職構成一覧表

（平成29年５月15日現在）

役職名		人数	氏名
議長		１名	樋下周一郎
副議長		１名	板橋英治
常任委員会	総務文教委員会	５名	◎伊藤正子　○青木武明　樋下周一郎　大久保帝二　高橋宏光
	経済建設委員会	５名	◎宇野進一　○新井　庫　鈴木喜一郎　板橋英治　植竹美智雄
議会運営委員会		５名	◎鈴木喜一郎　○青木武明　宇野進一　伊藤正子　新井　庫
広報編集特別委員会		６名	◎大久保帝二　○高橋宏光　新井　庫　植竹美智雄　樋下周一郎　板橋英治
町議会堤防強化事業対策特別委員会		９名	◎鈴木喜一郎　○植竹美智雄　青木武明　宇野進一　大久保帝二　伊藤正子　板橋英治　高橋宏光　新井　庫
議会選出監査委員		１名	欠　員
さしま環境管理事務組合議員		３名	青木武明　鈴木喜一郎　宇野進一
利根川栗橋流域水防事務組合議員		２名	大久保帝二　新井　庫
茨城西南地方広域市町村圏事務組合議員		２名	樋下周一郎　植竹美智雄
茨城県後期高齢者医療広域連合議会議員		１名	樋下周一郎

◎委員長　○副委員長

議会トピックス

町村議会議員自治研究会に参加

２月21日、茨城県内12町村で組織する町村議会議長会主催の研究会が水戸市の茨城県市町村会館において開催され、当町議会も参加をしました。

研究会は、２名の講師による講演会の形式で行われました。

１人目は、茨城県の菊地健太郎総務部長による「国の政策、県の政策、地方行政の方向性」という演題で、国と地方の役割の明確化として、地方は福祉や教育の充実に力を入れるべき。また、自分の住む町の誇りが失われないか、誇りの空洞化は町にとっての致命傷であると講演されました。

２人目は、山形弁研究家　ダニエル・カール氏による「日米文化比較論～人づくり・街づくり～」という演題で行われました。自らが実際に経験したことを、山形弁や関西弁を織り交ぜて、日本で外国人と接触するときは、通じないという古い先入観を捨てるということや、外国人からみた日本語と英語の特徴をわかりやすく講演されました。

議会の動き（３月～５月）

３月３日	第１回定例会初日	４月13日	広報編集特別委員会
３月６日	総務文教委員会	４月21日	議会全員協議会
３月７日	経済建設委員会	５月８日	広報編集特別委員会
３月８日	予算特別委員会	〃	議会運営委員会
３月10日	予算特別委員会	〃	議会全員協議会
３月13日	予算特別委員会	５月12日	議会全員協議会
３月14日	一般質問	５月15日	第１回臨時会
〃	議会運営委員会	５月19日	広報編集特別委員会
３月16日	第１回定例会最終日	〃	議会全員協議会
３月21日	議会全員協議会	５月26日	議会運営委員会
４月６日	議会運営委員会	〃	議会全員協議会

次回定例会予定

６/９（金）～６/15（木）

一般質問予定日は
６月13日（火）・14日（水）
お気軽に傍聴においでください

問い合わせ先　TEL・FAX　0280-84-1138

わかりやすい議会 Q&A

Q：議会には、なぜ委員会があるの？

A：議会の権限事項は従前に比べ量的に増え、内容も複雑多岐にわたっていることから、議会の内部組織として、本会議の機能の一部を分担している前審機関として、本会議における審議の予備的・専門的・技術的な審査機関として設置されています。

Q：常任委員会ってどういうもの？

A：地方自治体の議会が一定の部門の事務に関する調査、議案、陳情等の審査を行わせるため、条例で定めている常設の委員会です。

町議会では総務文教委員会と経済建設委員会があり、議員はどちらかの委員会に所属することになっています。

Q：議会運営委員会はどんな委員会ですか？

A：円滑な議会運営のため、協議・意見調整を図る委員会です。議会の会期や、議事日程、意見書・決議の取扱い、会議規則や委員会条例に関する事項等を所管しています。

編集後記

編集委員　板橋英治

雨に濡れたあじさいの青がひときわ美しい季節　皆様いかがお過ごしでしょうか。

これから２ヵ月間猛暑日が続くと思われます。おじいちゃん・おばあちゃんから赤ちゃんまで健康管理が大事です。バランスのとれた食事と十分な睡眠が必要と思われます。

工夫をして、元気にこの夏を乗り切りましょう。

広報編集委員会

委員長	大久保　帝二
副委員長	高橋　宏光
委員	新井　庫
	植竹　美智雄
	樋下　周一郎
	板橋　英治

平成29年6月1日発行　発行／五霞町議会　編集／議会広報編集特別委員会　〒306-0392／茨城県猿島郡五霞町大字小福田1162-1　☎0280-84-1138